

ぐんまこどもの国児童会館

鼠

ニコッと通信

nicotto tsu-sin!



にこっちゃん

2008.1.15
第20号

発行/ぐんまこどもの国児童会館



あけまして おめでとうございます

今年もみなさんに、楽しい催しをたくさんお届けします！
家族そろって、あそびに来てね！！

ぐんまこどもの国児童会館 スタッフ一同

スペースシアター

〈プラネタリウム番組〉



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

今回の航海で、麦わら海賊団は"星空島"という不思議な島にたどり着きます。この島でルフィ達を待ち受ける冒険とは？

大人から子供まで大人気のアニメ「ONE PIECE」。

プラネタリウムだけのオリジナルストーリーで登場！お楽しみに！

- 12月8日(土)～平成20年6月15日(日)
土・日・祝日 14:30から
- 冬休み・春休み期間中
平日 13:00から
土・日・祝日 14:30から

こども劇場 ファミリーオペレッタ 「クルクル絵本の旅」



絵本の世界に飛び込んでしまった子猫のキナコを、クルクルと一緒に探しに行こう！

こどもの城・青山劇場、青山円形劇場をベースに活動しているオペラクリエーション・イン・青山による、楽しいオペレッタを上演します。

開催日：2月10日(日) 定員：300名(先着順)
時間：14:00～15:00 観覧料：無料
会場：多目的ホール 観覧方法：当日、直接会場へお越しください。

こども観劇会

ロバの音楽座 「愉快的コンサート」

NHK「からだであそぼ」や「パンツぱんくろう」の音楽を担当し、中世ヨーロッパのルネサンス楽器や様々な民族楽器、自分たちで作った楽器などを使った、おなじみのロバの音楽座の楽しいコンサートを行います。

開催日：3月16日(日) 定員：各回300名(先着順)
時間：11:30～12:45 観覧料：無料
14:00～15:15 観覧方法：当日、直接会場へお越しください。
会場：多目的ホール



休館日

1月… 1日(火)・2日(水)・3日(木)・7日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)

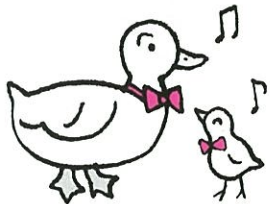
2月… 4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

3月… 3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL. 0276 (25) 0055 FAX. 0276 (25) 0059
URL <http://www.sunfield.ne.jp/kodomo01/>



地域の子育てを応援する 「ファミリーサポートセンター」



子育て中のお母さん達にとって、強～い味方になる「ファミリーサポートセンター」をご存じでしょうか。ファミリーサポートセンターとは、子育て中の保護者の日常生活を支援するため、援助を受けたい人で行いたい人が、センターを通じて育児の助け合いを有料で行う制度です。

詳しいお話を「太田市ファミリーサポートセンター」（以下「ファミサポ」）の運営を市から委託されているNPO法人すずらん 理事長の堀越秀美さんに伺いました。

Q：援助を受けたい側の「おねがい会員」とは？

A：生後3ヶ月～高校3年生までの子どもをお持ちの方で、市内在住・在勤の方が対象になります。現在太田市では、725名が登録しています。主に0歳から小学校低学年のお子さんをお持ちの方がほとんどですね。

利用料金は、平日8：00～18：00まで子ども一人につき1時間あたり600円で、それ以外の時間は700円で2人目はその半額で利用できます。県から補助もです。また、こちらでは、県のひとり親家庭子育て支援事業も（病児・病後児を含む）行っています。

Q：登録の方法は？

A：基本的には、お子さんと一緒に事務局に来ていただき、面談をしてから登録になります。登録は無料で、会費等もありません。また、万一の事故に備えて、傷害保険等にも加入しています。

Q：どんな時にお願いすることが多いですか。

A：一番多いのが、保育園にお迎えに行き、保護者が帰宅するまでの一時預かりですね。その次は、現在求職中で、ハローワークに行く時のご利用でしょうか。

Q：1ヶ月の利用数は？

A：約100人の利用で、400件程度です。同じ方が月に数回、利用することもありますね。

Q：次に預かる方の「まかせて会員」ですが、登録方法などは？

A：心身共に健康な方で、所定の講習会を受講していただいている登録となります。現在は253名の登録で、30代から60代の方が多いですね。また、「どっちも会員」の方も75名いらっしゃいます。保育園へのお迎えなどには、会員証を持参いただくことになっています。

Q：運営するにあたって気を付けていることは？

A：毎日事故がおきないように、また、保護者が安心して

働けるように心がけています。保護者が病気の時はもちろん、ちょっとリフレッシュしたい時などにもご利用ください。

Q：NPO法人すずらんでは、「ぐんま緊急サポートセンター」（以下「緊サポ」）も厚生労働省から委託されて運営していますが、「ファミサポ」との違いはなんですか？

A：「ファミサポ」と同じように「おねがい会員」と「まかせて会員」制度ですが、大きく違うのが「おねがい会員」は、産前産後の妊婦あるいは、生後2ヶ月から小学校6年生までのお子さんをお持ちの働いている方が対象で、病児・病後児保育が中心になっています。「まかせて会員」は、養成講座を受講後の登録になります。両会員とも県内在住の方になります。

Q：県内広範囲ですね。

A：そうですね。ですが、前橋市・渋川市・桐生市・館林市では、地区コーディネーターさんがいるので、助かります。今後も、各市のファミサポと緊サポとの連携を密にしていきたいです。

また、各地での講習会を快く引き受けてくださっている講師の先生方や支えてくださる皆さんのお陰で、運営することができます。本当に感謝しています。

なお、すずらんでは産前産後の環境整備のお手伝い、集団託児・夏季絵画教室も行っていますので、こちらもご利用ください。

このように、お話しくださった堀越理事長。ご自身も今は高校生と中学生になったお子さんが幼い頃、看護師を続けながらの子育てで大変な時期があった事が、ファミサポや緊サポを立ち上げ、運営していく原動力になっているとのこと。

助けてもらいたい人と助けたい人の会員同士の相互援助活動を支援する2つのシステム。ぜひ、皆さんも活用してみませんか。登録方法や料金、活動エリアは各市で異なりますので、まずは、お近くのファミサポまでお問い合わせください。

セ ン タ ー 名	所 在 地	電 話 ・ F A X
ぐんま緊急サポートセンター（群馬県全域）	〒373-0853 太田市浜町 66-49 勤労会館 1F 内	0276-45-3361・0276-45-3361
伊勢崎市ファミリー・サポート・センター※	〒372-0048 伊勢崎市大手町 3-1 いタワー花の森保育所内	0270-23-6471・0270-22-1911
太田市ファミリー・サポート・センター※	〒373-0853 太田市浜町 66-49 勤労会館 1F 内	0276-46-5811・0276-46-5811
桐生ファミリーサポートセンター※	〒376-0013 桐生市広沢町 1-2619-7	0277-70-6677・0277-70-6789
しづかわファミリー・サポート・センター※	〒377-0007 渋川市石原 1629-1 渋川市勤労福祉センター内	0279-22-5200・0279-22-5201
高崎市ファミリー・サポート・センター	〒370-0065 高崎市末広町 115-1 高崎市総合福祉センター内	027-370-8824・027-370-8824
沼田市ファミリー・サポート・センター	〒378-0056 沼田市高橋場町 4641-1	0278-22-2447・0278-24-8553
藤岡市ファミリーサポートセンター	〒375-8601 藤岡市中栗須 327	0274-23-5777・0274-22-7502
前橋市ファミリー・サポート・センター	〒371-0035 前橋市岩神町 3-1-1 前橋市総合教育プラザ内	027-230-9007・027-230-9088

※市内在住・在勤に限る ◎ファミサポがない地域は、ぐんま緊急サポートセンターがファミサポを兼ねます



子どものマナー



—— 幼児期・マナーにつながる芽を育む ——

小学校において学級崩壊が問題になってから間もなく「幼稚園から学級崩壊が」という記事が新聞を賑わせました。

その要因のひとつは、教育要領に示された幼児の自発性の尊重にあり、幼児のしたいことを自由にさせる保育の流れが、静かに人の話が聞けない、順番を待つなどで自己抑制の効かないわがままな幼児を増やしたといった意見も出ていました。

人に指示されて動く生活中心ではそれらの能力は容易に身につくものではないと考えています。幼稚園などのような集団生活の場である以上、一日中自由のみで過ごしたり、指示のみで過ごす生活などありうるはずもないのです。

幼児期に育てたいマナー

まず、幼児期にどんなマナーを教えるかを考えると、それは大人に求められているような行儀作法や立ち居振舞い、あいさつをきちんとする、身の回りを清潔にする、公共の場でのルールを理解と行動等についての型を教え込むことではないと思います。幼児期にはマナーそのものを教えるのではなく、幼児が大人になって遂行する必要のあるマナーの習得にやがてはつながる芽を、幼児自身が遊びや生活の中で数多く体得することが大切になります。

幼児期に育てたい基本的な生活習慣とマナー

幼児期に基本的な生活習慣を身につけることの大切さは明らかなことで、これらは普通、家庭での生活の中で母親とともにいたり、また園での生活において、幼児に適した洗面台や便器が用意された環境、友達と遊びに興じたい要求を満足させる環境の中で、教師や保育士、友達の言動に刺激を受けつつ日々繰り返したりすることによって自然に身につくものです。

たとえば、食事にかかわる時には、食前の手洗いの指導はもちろん、手づかみでの食事、食べ歩き、食べ散らかしなどは食事を共にしている他の人に不快感を感じさせることになるため、それらを正すことは食事時のマナーとして毎日繰り返される指導の一つです。また自分で出した遊び道具はもちろんです、友達と共同で遊んだ用具の片付けや皆で一緒に過ごす部屋や園庭を美しく保つようにすることも、将来公共心やボランティア精神を培うことにつながるため、幼児期に身につける大切な行為として指導されているはずです。

これらは個人的な生活習慣と呼ばれてるものですが同時に園が集団生活であるため身につけざるを得ない社会的な習慣の部分をも含むものとなります。

マナーの習得は幼児の必要感の喚起から

園でのマナーの指導の多くは人との関係の中でしっかりと育むことが求められるべきです。つまり社会的な生活習慣の指導が重要となり、その中こそ幼児期に育みたい内容が多く含まれています。

人の話に耳を傾けるという行為についての指導を考えてみましょう。入園当初の幼児は先生の話の静かに聞かなければならないことを理解していません。なかには集団の雰囲気になじめず、むしろその場から逃げ出したい幼児も多くいます。

また、もっと面白いことがありそうだと自分の興味の赴くままに行動してしまう子もいます。そこでは「静かにしてください」「お口にチャック、手はお膝」など先生から注意がでます。

このようなことは、入園当初であればむしろ当然といえますが、この指導が常時行われるとすれば、幼児の中に集団で話を聞く時には静かにするといったマナーは身につくかもしれません。徐々に集団に慣れてくると、皆が集中したいときに集団を乱す幼児に対して仲間からの「うるさいよ」の聲がかかり、幼児は互いにその行動を牽制しあうようになるのです。

また、公共の物を大切にすることなどは、自他の物の区別や共同の物の使い方を知り、さらに大好きな友達を得ることで、はじめて相手が大切にしている物への愛着や、皆で物を分け合うことを体得し、マナーの芽を身につけるのです。

ごっこ遊びで身につくマナー

ごっこ遊びは幼児期特有の遊びであり、象徴遊びとも呼ばれるように、プチ社会体験を可能にする遊びです。幼児期のごっこ遊びは発達的に消滅していく宿命をもっていますが、その移行期の指導のありように、マナーにつながる芽を本物のマナーとして子どもの中に位置付ける鍵があるように思います。

〈参考文献〉 岩崎婉子「幼児期・マナーにつながる芽を育む」
（『児童心理』2003年8月号臨時増刊所収）

ぐんまこどもの夢大賞 第16回



「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で毎年行っています。今年は18歳未満を対象とした絵画と、小学生以上18歳未満を対象とした童話の2部門を夏休みに合わせて募集を行い、絵画7,113点、童話431点というたいへん多くの皆様から作品をいただきました。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞16点、銀賞24点、銅賞42点、奨励賞109点が、童話は最優秀賞1点、金賞2点、銀賞6点、銅賞8点、奨励賞12点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。

インタビュー内容

- | | | |
|----------------|--------|---------------------|
| ① 受賞を知ったときの気持ち | ② 制作時間 | ③ どうしてこの作品をかこうと思ったか |
| ④ 次は何をかきたい? | ⑤ 将来の夢 | ⑥ 保護者のことば |

絵画



館林市 富士幼稚園 6歳

ひるかわ けい や
蛭川 佳哉くん

「白バイの
おまわりさんになりたい」



- ① うれしかった
- ② 1日で描きました
- ③ 幼稚園に、白バイがやってきて、カッコイイと思ったから
- ④ 宇宙
- ⑤ 白バイの運転手
- ⑥ 年長になったら、絵をよく描くようになりました。

今は絵を描くことが楽しくなっているようです。

今回の絵は幼稚園で描いたので（描いているところを見ていなかったのに）、こんなにしっかり描けているのが意外でした。驚きと喜びでいっぱいです。



群馬大学教育学部附属小学校 2年

さいとう ゆか
齋藤 由佳さん

「ゆめりょう」



- ① うれしかった
- ② 1ヶ月くらい
- ③ 飛行船に乗ったことがないから。
乗ってみたい。
- ④ 今、バレエを習っているの、バレエの絵
- ⑤ ケーキ屋さん！
- ⑥ 本当にびっくりして、家族全員で喜んでいました。いつも飛行船に乗ってみたいなあ、と話しています。
普段は、おじいちゃんと一緒に絵を描いています。



前橋市立朝倉小学校 6年

ろっぽん きりな
六本木 里奈さん

「フルート奏者になりたいな」

- ① びっくりしたけど、うれしかった
- ② 1日2時間描いて、8日間くらい
- ③ フルートを習っていて、大好きだから
- ④ 中学生になったら吹奏楽部に入りたいと思っているので、他の楽器を演奏しているところや、
みんなで演奏しているところの絵
- ⑤ フルートをこのまま続けるか、薬剤師
- ⑥ 良い賞をいただき、ありがとうございました。
夏休み中、フルートを見ながら細かいところも
一所懸命描いていました。時間をかけて描いた甲斐がありました。



童話



安中市原市小学校 4年

かとう みのり
加藤 稔理 さん

- ①自分が賞を取るなんてありえないと思っていたから、信じられなかった。すごく嬉しかったです。
- ②一週間くらい。
- ③さくらがきれいで好きだから、他の動物たちにも見せてあげたいと思ったので。学校の中（校庭など）には色々な動物たちが住んでいるんじゃないかと思って。
- ④目に見えない幽霊とかが主人公の子だけには見えて、仲良くなっていくお話。
- ⑤童話や文章や詩を書く人になりたい。
- ⑥この作品を創作しているとき、まるで何かがのりうつったように集中して書いて、鉛筆を走らせている音だけしていました。その後、完成した作品を読んで上手に書けていたのでびっくりしました。入賞のお知らせを聞いておどろきましたが、とても嬉しかったです。

「知らない世界へごしょうたい」

森のおくの土の中に、もぐらが住んでいました。

ある日、もぐらの家に友だちのりす君から、絵はがきがとどきました。とてもきれいな、さくらの写真です。それには、こう書いてありました。

"もぐら君へ。

この写真、どうだい？きれいだろ。これは、さ、く、ら。さくらだよ。外の世界にある物なんだ。外に出てみればいいよ。

夜になったら星が見えて、夏にはキラッギラの太陽。

あとの秋と、冬は、ひ、み、つ。外に出てみてよ。"

そして、はじっこには、

"知らない世界へ、ごしょうたい。"

と、書かれていました。

「知らない世界かぁ…。」

もぐらは、うっとりしました。

もぐらはずっと土の中にいて、一度も外に出たことがないのです。

「さぐら…じゃなかった、さくらかぁ…。この目で見ると、さくらは、この写真より、きれいなんだろうなぁ…。」

でも外はこわいなぁ。でも、やっぱり、見たい!。」

もぐらは、心を決めました。

「よし。外にむかって、レッツゴーだ。」

もぐらは、こぶしをシュッシュと前につき出して、あなをほりはじめました。しかし、どこに行けばいいのかわかりません。

「そうだった。物知りばあちゃんに聞いてみよう。」

もぐらはいそいで物知りばあちゃんの所へかけて行きました。

「ほほう。さくらのある場所ねえ。」

物知りばあちゃんは目を丸くしました。

「まあ、この森の中にもあるけれど、今なら小学校のさくらの方が、きれいだと思うよ。」

と物知りばあちゃんは言いました。

「えっ。小学校ってどんな所。」

しつ問の答えはいつも決まっています。

「ひみつ、ひみつ。それは見てのお楽しみ。」

もぐらは行き方を聞くと、さっそくほりはじめました。ところが、と中までくるといきなり土がかたくなって、なかなかあながほれません。昼から夜までほっても半分しかほれません。

「ふう、ふう。この続きはまた明日にしよう。」

もぐらはこの日、いつもより二時間も早くねました。そして、いつもより三時間も早く起きました。そしてまた、すごいいきおいでほりはじめました。でも、やっぱり土がかたくて、すぐにつかれてしまいました。

「そうだった。物知りばあちゃんにほり方を聞いてみよう。」

もぐらはいそいで物知りばあちゃんの所へ、かけて行きました。

「そういう時はだな、その場所に水をかけるといい

んじゃよ。」

物知りばあちゃんは、にっこりわらって教えてくれました。もぐらは首をかしげて、

「へえ。それはどうしてなの。」

「ひみつ、ひみつ。それは見てのお楽しみ。」

もぐらは、二回目のひみつ、までは聞いていましたが、その後は、もう、家へ走り出していました。

家にもどったもぐらは、バケツいっぱいの水をくんで運びました。そしてそれを、あなに向かって、ザーンと、力いっぱいかけました。すると、土がとてもやわらかそうに見えました。

「うっひょお。」

もぐらは目をかがやかせて、ズンズンほりはじめました。手はどろだらけになりましたが、前よりどんどんほれます。その時です。

「わっ。」

スポツとあながあきました。

「まぶしい。あ、あ、あわわわっ。」

ドシーン。もぐらは、しりもちをつきました。

もぐらは上を見あげました。ぽっかりとあいたあなから、さくらの花びらが、ひらひらとふってきます。外を見ると、さくらの木が何本もあります。どの木もまんかいです。

「すごおい。」

あなからこっそり出て、きれいな花びらを六まいとって、それをおし花にしました。

もぐらは、ここに住むことを決めました。

それから毎日外の風景を、ながめていました。毎日、たくさんの子どもが遊んでいます。もぐらは、見あきることはありませんでした。

ある日、ミーンミーンという、セミの鳴き声で目をさしました。もぐらは首をかしげました。

「何だろう。」

外を見たとなん、もぐらは声をはりあげました。

「わほおっ。夏だよ、夏っ。」

まっさおな空に、キラッキラの太陽。そして、こい緑の葉。あなからこっそり外に出ると、きれいな葉をとって、おし葉にしました。もぐらは、しししつとわらって、

「あとは秋と冬だな。」

と言いました。

ある日、セミの声が聞こえないことに、きづきました。

「ま、まさかつ。」

ぱっとかけだし、外を見ると、赤や黄色の葉が、ひらひら落ちてきます。

「秋だ、秋だ。ヤッター。」

もぐらは、とびはねました。そして、こっそりあなを出て、赤と黄色の葉をとり、おし葉にしました。

だんだんと、月日は流れていきました。どんどん寒くなり、もう、しも柱ができています。もぐらは、うずうずして、ドキドキして、そうっと外に出てみると…。

「冬だ、冬だあつ。」

辺り一面真っ白です。もぐらは、外をピョコピョコかけ回りました。そして、かれ葉を一まい見つけて、持って帰りました。

もぐらは、今まで集めてきた花と葉のとなりに、かれ葉をおくと、

「よし。春夏秋冬コレクション、かん成。」と、大声でさけびました。そして、春夏秋冬コレクションを、しみじみとながめました。

「この、ぼくの知らない世界へ、しょうたいしてくれたりす君に、何かお礼は出来ないかな。」

もぐらは、すぐにいいアイディアを思いつきました。

もぐらは春になると、楽しそうに遊ぶ子どもたちをパシリと写真にとりました。

そして、それを絵はがきにしました。それには、こう書きました。

"りす君へ。

前は、すてきな世界を教えてくれて、ありがとう。

ところで、うらの写真、気に入ったかい？

子ども、子どもさ。

見たことないだろ。

本物は、もっとすごいんだ。ねえ、見てみたら。君もおどくだろうな。"

そして、はじっこには、

"知らない世界へ、ごしょうたい。"

と、書きました。

「ファイトフェスティバルin 東部県民局」が開催されました！

11月11日(日)、ぐんまこどもの国・公園と児童会館を会場に、ファイトフェスティバルが開催されました。当日は残念ながら、雨がパラつくあいにくの天気でしたが、予定通りに各イベントが催され、おじいちゃんおばあちゃんから小さなお子さんまで、幅広い年齢の方が遊びに来ていました。



公園では、ダンス&ミュージックライブ、しめ縄づくり、木工工作などの体験コーナーや、東部地域のとれたて新鮮野菜の販売などがあり、子どもだけではなく買い物を楽しむお母さん方の姿も見られました。また、児童会館内では、桐生からくり人形芝居の上演やなつかしい「昭和30年代の子どもたち」の写真展、東部地域の子供達が出演し撮影されたファイト映画の上映などがあり、1日では足りないくらい、それぞれのイベントを楽しめたのではないのでしょうか。

ダンス&ミュージックライブでは、たくさんの団体が参加し、子ども達が色とりどりのステキな衣装を着て、元気いっぱいのダンスをステージで繰り広げていました。当館の名物チーム「わっかない南中ソーランおどり隊」の子ども達も参加し、演技を披露しました。昨年度から活動を始め、日々練習を重ねてきた子ども達。たくさん参加団体観覧者がある中、緊張しながらも練習の成果を披露できました。おどり隊の子ども達も、他の団体の演技を見て良い刺激になったのではないかな?!



ファイトフェスティバルに関わられたみなさま、おつかれさまでした!!

お母さんのリフレッシュタイム 「てづくり♡タオル・ベア」

11月30日(金)に行われたお母さんのリフレッシュタイムでは、身近にあるタオルを使って、ぬいぐるみのクマを作りました。



ぬいぐるみといっても、布地を切る必要もなく、洗濯バサミや輪ゴムでタオルの形を整えていき、最後にわずかな部分を縫って仕上げるだけ。

あっという間にかわいいクマちゃんが出来上がります。

その手軽さに、参加されたお母さん方にも、笑いあり、おしゃべりありの楽しい一時となり、育児や家事から離れ、気分転換の場所になったようです。

今回はクマを作りましたが、ほんの少しアレンジすればカエルやブタにも大変身。家に帰り早速挑戦したお母さんもうるかもかもしれませんね。

お母さん達がクマを作っている間、プレイルームで遊んでいた子どもたちも、お母さんの手作りに大喜び。手触りもよく、お気に入りの様子でした。

同講座では、今後もお母さんがリフレッシュ出来るプログラムを実施していく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



こどもの国クリスマスイルミネーション

昨年12月1日(土)から25日(火)まで、金山総合公園ぐんまこどもの国の園内では、クリスマスイルミネーションを点灯しました。

初日の点灯式では、公園長と当館館長のお話の後、徐々に暮れなずむ空を背景にツリーやトナカイ、かわいい列車などのライトが一斉に点灯。来園していた家族から歓声が上がリ、笑顔が映し出されました。また大きなツリーのイルミネーションの中には入ることができ、中から見あげると、放射状の光が美しく夜空にとけ込んで見えました。

イルミネーションは今年12月も予定しています。約1年先の話ですが、待ちきれないですね!



ぐんまこどもの国児童会館・わっかない南中ソーランおどり隊

昨年11月群馬県庁で行われた「子育て楽(学)会」では、ぐんまこどもの国児童会館「わっかない南中ソーランおどり隊」の子ども達の元気な踊りが会場をわかせました。みんなで踊ろう!の声に、会場から飛び入りの小さな子ども達も仲間に加わり、温かい拍手をいただきました。

稚内市の南中学校から発祥した躍動感あるこの踊りは、現在多くの小・中学校などの支持を得て全国に波及しています。ぐんまこどもの国児童会館の「おどり隊」は、平成18年5月に開催された「児童福祉週間60周年記念事業」への参加をきっかけに発足されました。当館の呼びかけに答えてくれた小学3年~6年生の子ども達は、地元太田市青少年郷土芸能集団稚内南中ソーラン「風雷坊」のメンバーの指導をうけ大熱演。その後、こどもの国内外で様々なイベントで踊りを披露し、現在2年目を迎えます。とにかく元気いっぱいの子ども達の踊りは見ている人も元気にしてくれますよ。これからも、どこかで「おどり隊」を見かけたら、応援よろしくお願いします!!



平成19年度 活動内容 (平成19年12月まで)

- 5月「ぐんま母親クラブフェスティバル」
(群馬県・ぐんま地域活動連絡協議会・ぐんまこどもの国児童会館・群馬県児童館連絡協議会主催)
- 7月「ふれあい祭り~今に伝える昔の遊び~」
(群馬県・群馬県長寿社会づくり財団・ぐんまこどもの国児童会館主催)
- 10月「群馬県内児童館フェスティバル」
(財)児童健全育成推進財団・群馬県児童館連絡協議会主催)
- 11月「ファイトフェスティバルin東部県民局」
(群馬県東部県民局・ファイトぐんま推進会議主催)
- 11月「第9回ぐんま子ども子育て学(楽)会」
(群馬県(青少年こども課)・NPO法人市民メディアペー・みんとかんぱにー主催)



平成20年3月15日(土)
イオンモール太田・1階セントラルコートにて公演決定!
公演時間: 14:00~、16:00~
お買い物の際には、ぜひ、お立ち寄りください。